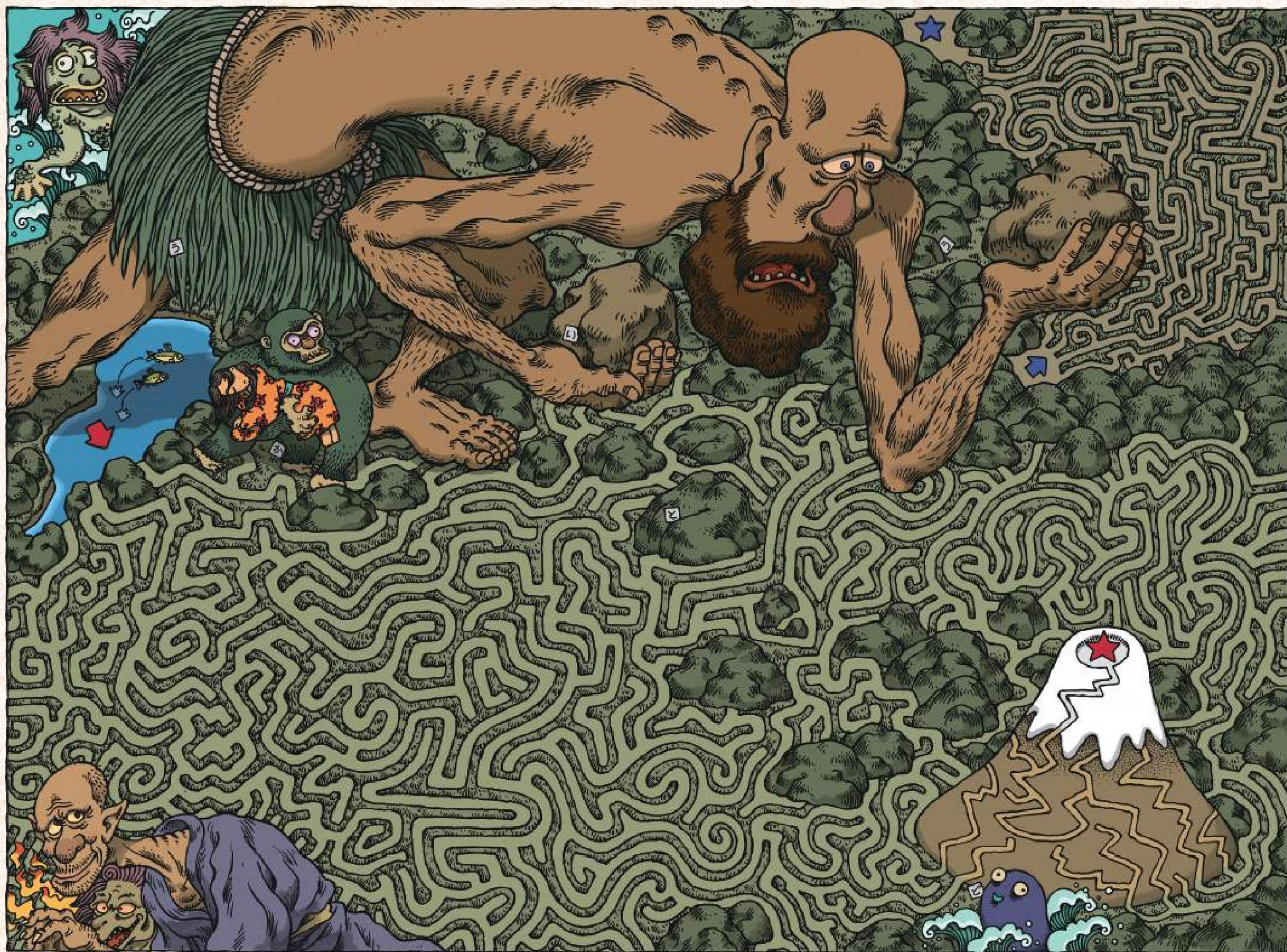


大男のいだらぼつちが土を掘って、日本の山や湖をつくっているよ。いっしょに琵琶湖から富士山まで行ってみよう。山奥のから★も探検してみてね。



だいだらぼつちがつくる
琵琶湖から富士山まで

迷路にいた妖怪は……

各地に伝わる妖怪は、だいたい同じような姿をしているよ。その足あとだと、日本海や池、ぼ地は、全国に散らばっている。海にすむ妖怪は、目に見えるよ。海にすむ妖怪は、目に見えるよ。

火車

生前に悪いことをした人の葬式を嵐で襲い、棺桶の蓋までも飛ばして死体をうばっていく。地獄からの迎えだと恐れられたこの妖怪の正体は、年老いた化けネコだともいわれている。

だいだらぼっち

地面を掘って歩いて運び、その土を盛り上げて富士山をつくったという巨人。掘ったあとは琵琶湖になり、とちゅうでこぼした土は、富士山と琵琶湖の間の山々になったとか。

見越し入道

行く手に立ちはだかる坊主の妖怪。夜道に突然現れ、見上げれば見上げるほど大きくなる。飛び越されたり、声をかけられると死ぬともいわれる。

猿神

老人が畑を耕しながら「だれか手伝ってくれたら娘と結婚させよう」とつぶやくと、大ザルが現れて手伝い、娘を山に連れ去った。すきを見て娘と入れかえたイヌにサルはかみ殺された。

人魚

漁師が海で見た人魚を殺して海に投げ入れると大風が巻き起こり、17日間海鳴りが続いた。1か月後には大地震があり、地面がさけて漁師のすむ村は地中にしずんだという。

海坊主

漁をしてはいけないお盆の夜、漁師が漁をしていると、目の前に頭のまるいヌルヌルした海坊主があらわれて船にしがみついたり、船をのみこんだりするという。

近畿地方

北部にはなだらかな高地や山地が続き、冬には雪が多く降ります。南部にはけわしい山々が連なり、日本有数の多雨地帯となっています。南北の山地にはさまれた中央部は、平野が広がり、多くの盆地がある地形で、雨が少なく寒暖差が大きい気候です。

約400万年前に原型となる湖ができたといわれている古代湖。日本最大の面積をもち、滋賀県の面積の約6分の1を占めている

山地が日本海沿岸まで続くため、平野は少なく、海岸部は入り組んだ地形になっている

